

JUKI 株式会社と金融機関8行による サステナビリティ・リンク・ローン契約締結について

JUKI 株式会社(代表取締役会長 CEO 兼 COO:清原 晃)は、金融機関8行との間で、サステナビリティ・リンク・ローン(以下「SLL」)による融資契約(以下「本ローン」)を12月29日に締結しました。

SLLは、借り手の経営戦略に連携して設定したサステナビリティ目標(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット:以下「SPTs」)の達成状況に借入条件を連動させることで、その達成を動機付けるとともに、環境や社会の側面から持続可能な事業活動や経済成長を促進することを目指すものです。

JUKIは、CO2排出量削減をはじめとしたサステナビリティへの取り組みをより一層強化する事で、持続可能な社会の実現と事業の発展の両立による企業価値向上を目指してまいります。

【JUKIのサステナビリティにおける取り組み】

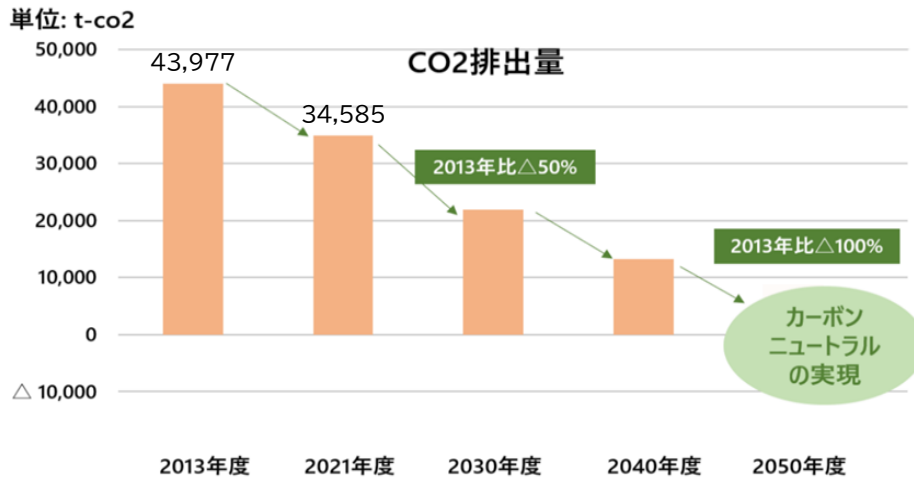
JUKIは、コーポレートスローガン「Mind & Technology」の思想である、心の通う技術とお客様第一主義で社会に役立つ製品・サービスを創造・提供し続けることで、持続可能な社会の実現に貢献してきました。また、気候変動をはじめとした地球環境への対応として、CO2排出量を指標とした2050年のカーボンニュートラル実現とTCFD提言への賛同をコミットメントし、環境に配慮した開発・生産を行うことで、サプライチェーン全体のCO2排出量削減など、環境負荷低減に向けた取り組みを実践しています。

【サステナビリティ・リンク・ローン概要】

SPTs(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)	Scope1及び2の2030年度におけるCO2排出量50%削減 (基準年である2013年度比)
インセンティブ	SPTs達成状況に応じた金利変動
契約締結日/実行日	2023年12月29日
貸付人 (契約金融機関8行)	みずほ銀行、三井住友信託銀行、日本政策投資銀行、広島銀行 商工組合中央金庫、常陽銀行、りそな銀行、静岡銀行
合計金額	58億円
融資期間	4年~5年

【サステナビリティ・リンク・ローンにおける JUKI グループ設定目標】

カーボンニュートラルの実現に向けて、Scope1(自社での直接排出)、Scope2(自社で使用するエネルギー起源の間接排出)において、CO2 排出量を 2030 年度において 2013 年度比で 50%削減することを中期目標として設定しており、本ローンでは、この目標を SPTs に設定しました。



【サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワークと外部評価について】

本ローンの契約締結にあたり、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)(※)が定める「サステナビリティ・リンク・ローン原則 2023」及び環境省が定める「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン(2022 年度版)以下「SLL 原則等」に従って、サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワークを策定しました。

同フレームワークは、SLL 原則等への適合性及び透明性の確保のため、株式会社格付投資情報センター(以下「R&I」)より第三者意見を取得しております。

上記 SPTs については、R&I より野心性及び妥当性の観点から SLL 原則に適合しているとの評価を受けております。

※LMA は欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会で、60 カ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

【関連資料】

[フレームワークについて](#)

[セカンドオピニオンについて](#)

■当リリースに関する問合せ先

JUKI 株式会社 総務部 SDGs 推進室 TEL:042-357-2375

JUKI 株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL:042-357-2398